

第一志望者入試について

1. 入試概要

科学技術に高い関心を持ち、本校で学ぶ意欲が特に高い受験生を対象として、事前課題と面接・作文で選考を行う入試です。この入試を受験できる者は、本校の第1回から第3回の通常入試を複数回同時に申し込み、さらに同時にこの入試にエントリーした者の中で、通常入試の得点が高くかつ事前課題の内容が優れた者となります。

2. 目的

本校第一志望者への優遇を制度化し、選抜方法を透明化します。また、事前課題では科学技術に対する興味・好奇心や探求心、さらには文字・図表による表現力を、作文では科学技術以外の分野への関心と文章力を、面接では言葉による表現力とコミュニケーション能力を審査します。

3. 第一志望者入試の流れ <エントリーから合格発表まで>

(1) エントリー 【1月10日(金)0:00～2月1日(土)14:00】

第一志望者入試にエントリーを希望する者は、第1回から第3回入試を複数回同時出願する際に、同時に申し込みます。後から追加で申し込むことはできません。エントリーはWEB出願のホームページから申し込むことができますが、以下に説明する課題を提出した時点で、はじめてエントリーが完了となります。WEB出願の画面から申し込んだだけではエントリーとなりませんのでご注意ください。また、エントリーの段階では第一志望者入試の分の受験料はいただきません。

(2) 課題提出 【1月10日(金)郵送～2月1日(土)15:00郵送・窓口必着】

第一志望者入試にエントリーを希望する者は、課題の提出が求められます。課題は10月18日(金)以降の中学説明会および本校事務室にて配布いたします。また、課題は指定の用紙に記入しますが、その用紙である「第一志望者入試課題シート」も10月18日(金)以降の説明会および事務室にて配布します。

課題は2月1日(土)15:00までに、本校事務室に提出するか、郵送必着となります。郵送の方法は、12月上旬に本校ホームページに載せる「一般入試出願の流れ」をご覧ください。

事務室受付時間 平日9:00～15:00、土曜日9:00～13:00

(3) 受験資格の連絡 【2月4日(火)20:00～21:00】

2月4日の第3回入試の合格発表後、第一志望者入試を受験できる対象者に対し、電話で個別に連絡します。電話連絡は20:00頃に行う予定です(多少前後する場合があります)。

対象者は、エントリーした受験生の中から、以下①と②の二つの基準を両方満たす者を選抜します。なお、電話連絡をする人数は、募集定員と同数程度の予定です。

① 複数回受験したが合格していない者の中で、受験した試験の得点が複数回とも上位の者。

※3回受験した場合は、高得点の2回分を採用します。また、3回出願したが実際は2回しか受験しなかった者も対象となります。

※第1回・第2回入試に同時出願し、第一志望者入試にも出願（エントリー）した場合、第1回・第2回入試のどちらかを欠席しても第3回入試を申し込み、受験することで第一志望者入試の受験資格を満たします。

② 事前に提出していただいた課題の内容が一定の水準以上であること。

※制度の趣旨から、受験者は本校を第一希望とする者に限ります。受験資格の電話連絡の際に、その点を確認させていただきます。合格後の入学辞退はできませんのでご了承ください。

(4) 出願 【2月4日（火）20:00～2月6日（木）0:00】

電話連絡があり、受験資格を得た受験者は、期間内にWEB出願のサイトから「第一志望者入試」を選択し出願をしてください。出願には電話連絡の際にお伝えするパスコードが必要となります。受験料支払いのページで受験料を支払い、手続きを完了させてください。受験料の支払いが完了した時点で正式な出願となります。

(5) 受験 【2月6日（木）】

① 当日持参する物

- ・受験票（Web上から印刷したもの）／写真票
- ・筆記用具
- ・第一志望者入試課題シートのコピー

② 受験生受付

- ・8:45までに試験室に着席してください。試験室は当日指示します。

③ 入学試験時程・内容

- ・作文 9:00～9:50 テーマは当日発表。科学技術とは関係がないテーマを予定。
- ・面接 10:10～ 順番は当日指示。一人15～20分程度 ※面接は受験生のみです。

(6) 合否判定

上記(5)の試験により合否を判定します。第1回から第3回入試の得点は考慮しません。

○評価基準

- ・作文における論理構成力、文章力
 - ・面接における対人対応力、コミュニケーション力、説明力
- また上記を通して理解力、思考力、表現力および本校の学校生活における意欲と適性、対応力を総合的に判断して合否を判定します。

(7) 合格発表

2月6日（木）16:00～17:00の時間帯に、電話で個別に連絡します。

(8) 入学手続き

2月7日（金）10:00～15:00に合格証と入学手続き書類を交付しますので、本校事務室までお越しください。

芝浦工業大学附属中学校 2020 年度「第一志望者入試」課題

○以下を読んで、【課題ア】と【課題イ】の両方に教えてください。

モノをつくるには原料や材料が必要です。そしてその原料や材料をさらに分類してみると、下のよう
な5つの種類にたどりつきます。反対に考えると、身の回りにあるほとんどのモノは下の5つのもの
からできています（ここでは水と空気を除きます）。すべて自然のもので、例えば巨大なビルも、
スポーツカーもすべてはこの5つの自然のものからできているのです。

- A. 動物の体の一部、あるいは動物がもたらしてくれるもの
- B. 植物からとれるもの
- C. 土や石（地表近くにあるもの）のなかま
こうぶつ
- D. 鉱物（地下から掘り出すもので、石油・石炭以外のもの。主に金属の元になる）
- E. 石油や石炭

【課題ア】

自分の身近にある製品を2つ取り上げ、それらについて例のように図解で説明してください。

①はじめに、それがどういう物でどのような使い道のために作られたものかを書いてください。

②次にその物に含まれている原料・材料すべてについて、できるだけ詳しく調べて書いてください。

わからない場合は想像でいいです。正確である必要はありません。

③最後に、②で調べた原料・材料が上の四角の中のAからEのどれにあたるか、書いてください。

スマートフォンのケース

スマートフォンがよごれないように、また落としにも
割れないように保護するためのケース

糸 革のケースをぬいあわせている
糸は小つ木綿が多いらしいが、これはたぶん中国製 → E

スマートフォンをはめこむ
部品
プラスチック製 → E

この中に磁石が
はいっている
鉄製 → D

カードなどが入れられる
空き間の下に
ビニールがはっある
ビニール製 → E

茶色い革製 → A
何の動物の皮か
はわからないが
牛の皮が
いちばん多いらしい。

<ヒント>

靴・カバン・服など身につける物、文房具や家庭用品、家の中の家具や小物など、身の回りから探してみましよう。自動車や電気製品、電子機器などは中身が見えないし、とても部品が多いので、避けた方がいいでしょう。また、コップなど1種類だけの原料でできている物も除いてください。

【課題イ】 次の①または②のいずれかについて、具体的な例を挙げて記述してください。

- ① 今回の調べで、君が新たに気づいたこと、発見したことは何ですか。
- ② 君が普段ころがけている環境保護はどのようなものがありますか。

<課題の提出方法>

募集要項（紺色の表紙）の一番後ろにとじてある「第一志望者入試課題シート」に記入します。

- (1) 受験番号欄・・・何も記入しないでください（空けたままでよい）
- (2) 受験者氏名・・・あなたの名前を書いてください
- (3) 題 名・・・自由にタイトルを考えて書いてください。
- (4) 解 答 欄・・・課題をよく読んで、あなたの調べた内容や考えを記入してください。
- (5) 解答の書き方の注意
 - ①解答欄を適当に仕切って、【課題ア】と【課題イ】の二つを書いてください。どちらにたくさんスペースを使ってもかまいません。
 - ②文字はえんぴつ、ボールペン、サインペンなどを使って、ぜんぶ手書きで、自分で書いてください。色のついたえんぴつやペンを使ってもかまいません。
 - ③【課題ア】では、例のような図でも、写真を切って貼ってもかまいません。【課題イ】の記述方法は自由です。文字だけでも、図などを入れてもかまいません。
- (6) その他の注意
 - ①受験生一人あたり提出できる課題シートは1枚だけです。あらかじめ下書き用に何枚かコピーを取っておくとよいでしょう。もし元のシートを汚してしまっても、コピーのほうに書いて提出してもかまいません（募集要項にとじてある用紙は厚い紙ですが、薄いものでもだいじょうぶです。）
 - ②課題シートは試験が終わっても返しません。一度提出した解答の書きなおしはできませんし、もう一度見直すこともできません。できあがったら必ずコピーを取っておいてください。
 - ③質問については、一部の人だけに答えると不公平が生じてしまう可能性があるため、答えられません。自分で考えて、自由に書いてください。
 - ④この課題は君たちの身近なものへの興味関心の程度や、その疑問への調べの度合い、説明の分かりやすさを見るためのものです。調べの正しさは関係ありません。また、解答例（スマートフォンケース）はあくまでも参考です。これと同じ程度で合格点というわけではありません。

<保護者の方へお願い>

- (1) 課題作成の補助について
 - ①対話を通じてお子様の考えを引き出し、その考えをまとめる過程の手助けをお願いします。シートへの記入における手助けは避けてください。発表や質問で答えられなくなってしまうと。
 - ②個別の質問にはお答えしません。
- (2) 受験者の資格と事前課題の採点基準について
- (3) 募集要項に記載の通り、「複数回受験したが合格していない者の中で、受験した試験の2回分の合計点が上位の者」で、かつ「事前に提出していただいた課題の内容が一定の水準以上であること」が受験の基本的な要件となります。
- (4) この課題については、特に点数化して順位を出すことはしません。評価の基準としては、調べの深さや表現の工夫などを評価します。

また昨年の課題解答例と Q&A を以下の URL に掲載していますので、参考にしてください。

<https://sites.google.com/shibaurafzk.com/daiichishibousha2020/>